

1 はじめに

いよいよ令和3年度がスタートしました。まずは、進級、おめでとう。

昨年度末、修了式の中で、その学年を修了すること、進級することの意義について触れましたが、始業の日、全員が揃って新3年生、新2年生に進級できたことを祝いたいと思います。また、始業式に先立ち行った新任式で、新たに7名の先生方をお迎えし、新たな年度を、新しい気持ちでスタートできたことも心から喜びたいと思います。

2 「春」のきもち

桜はもう葉桜となり新緑の季節に移ろうとしています。この始まりの季節。もう何回もそれを繰り返してきた私たち大人でさえ、新しい生活が始まることへのわくわくした期待とドキドキした不安がまぜこぜになったこの心の中を、言葉で説明することはなかなか難しいことです。皆さんも、新しい学年や新しい学級の始まり。また、新しい先生方や新しい友だちとの出会い。いろいろな「思い」が心の中にわき起こってきていることでしょう。そんなたくさんの「思い」の中から1つ、皆さんに有名な俳句を紹介しておきます。

春風や 闘志抱きて 丘に立つ

高浜虚子

春の風が吹きわたる小高い丘の上。眼下を一望しながらそこに立つと、心の中に強い闘志がわき起こってくる。自分の心の中にふつふつと湧いてくるその気持ちを「闘志」と表現しています。

闘志というのは、「何ものかと闘う気持ち。立ち向かっていく強い気持ち」のことです。チャレンジする気持ち。もっと簡単に「やるぞ」と叫びたくなるような気持ちと言ってもいいかもしれません。何と闘うのか。何にチャレンジするのか。それは、一人一人が決めることですが、その気持ちの強さが「闘志」です。

修了の日。卒業生から君たちへのエールを紹介しました。その中にも「挑戦すること」、「行動すること」がいかにか大切なことなのかというメッセージが込められていました。

今日、新たな学年の始まりの日。みなさん一人一人が、心の中で「やるぞ」と叫び、そして自分を強く奮い立たせることを大いに期待しています。

3 おわりに

来週、いよいよ新1年生83名が入学してきます。卒業式同様、在校生の参加はありませんが、入学式の翌日から、皆さんには、この学校で先に学んでいる先輩として、「やる気」を初め、1年生によきお手本を示して行ってほしいと思っています。

昨年度、逆境の中にあってもなお、知恵と工夫を集積し、力強く前に進んできたこの旭中学校を、皆さんの強い「思い」で、さらに盤石のものとして行ってください。

そして、その中で一人一人が自分という存在を大事にし、またたくましく成長させていくことを願っています。